

東京メトロの駅構内に、思わず足を止めてしまう広告がある。ガス機器のパロマによる100枚の看板プロジェクトだ。赤ちゃんからお年寄りまでの「なんでもない、それでいて幸せな

Smart Times

日常」の写真がそこにある。働き方改革の目的は残業規制ではない。長時間労働がなくなることは改革が実現した結果にすぎない。働き方改革は、働いている人の心を豊かにするものだ。「なんでもない、それでい

インディゴブルー会長

柴田 励司



1985年上智大文卒。マーサージャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行責任者(COO)などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

て幸せな日常」のため。この改革は自分のためであらぬ、自分の家族、恋人、友人のためなのだ。「なんでもない、それでいて幸せ」な瞬間は心を温めて工夫し、努力する。朝

働き方変え「幸せな日常」

かくする。それが明日への原動力となり、他者への思いやりになる。こういふ人たちがたくさんいる社会づくり。それが働き方改革の目的だと思ふ。これは誰かがやってくれものではない。主体は会社ではなく自分。会社はそのための環境を整えたり、支援したりする存在だ。か。何か決まって何が決ま

1時間早く起きて、前日か原動力となり、他者への思いやりになる。こういふ人たちがたくさんいる社会づくり。それが働き方改革の目的だと思ふ。これは誰かがやってくれものではない。主体は会社ではなく自分。会社はそのための環境を整えたり、支援したりする存在だ。か。何か決まって何が決ま

っていないのか不明な会議にしているのかわかる。メニューとあれば、メニューを無視した接し方になっていないか、冷静に自分の行動を省みてみよう。これまで二度手間だったものが1回で終わる。こうしたために何が出来るかを考える。例えば「こんなことだ。白金台の八芳園にある構内に電気を消して回るのが仕事ではない。冒頭のパロマだが、十数年前に過去の自社製品による死傷事故が問題視され

年前に過去の自社製品による死傷事故が問題視され